

平成20年7月31日

各 位

上場会社名 東洋製罐株式会社
 代表者 取締役社長 三木啓史
 (コード番号 5901)
 問合せ先責任者 常務執行役員総務部長 清水泰行
 (TEL 03-3508-2113)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	400,000	15,000	16,000	9,500	46.14
今回発表予想(B)	400,000	14,000	15,000	7,000	34.00
増減額(B-A)	—	△1,000	△1,000	△2,500	——
増減率(%)	—	△6.7	△6.3	△26.3	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	390,279	17,681	19,424	5,032	24.44

第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	192,000	6,500	9,500	5,500	26.71
今回発表予想(B)	192,000	4,500	7,500	3,500	17.00
増減額(B-A)	—	△2,000	△2,000	△2,000	——
増減率(%)	—	△30.8	△21.1	△36.4	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	187,971	9,213	12,209	2,153	10.46

修正の理由

第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、概ね前回予想通りとなる見込みであり、利益面は、当社グループの業績に大きな影響を及ぼすスチール・アルミニウム・プラスチック材料・原紙等の原材料価格およびエネルギーコストの高騰が期初予想を上回る水準で推移していることから、前回予想を下回る見込みです。

当社グループは、強い意志をもって製品価格改定の交渉および一層の生産性の向上・コスト削減等に努める所存でございます。

以上の理由により、平成20年5月15日に公表いたしました平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の第2四半期連結累計期間の業績予想を修正いたします。

第2四半期累計期間の個別業績につきましては、売上高は、概ね前回予想通りとなる見込みであるため変更はありませんが、利益面は、連結と同様の理由により修正いたします。

なお、通期の業績予想(連結・個別)につきましては、今後の原材料価格およびエネルギーコストの動向が不透明であり、また製品価格の改定については現在交渉中であることから、現時点において適切な予想数値の開示が困難であるため、可能となった時点で速やかに開示いたします。具体的な開示時期につきましては、第2四半期の決算発表時(平成20年10月下旬を予定)となる見込みであります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上